

春の風に吹かれて

これまで胸の奥で積もっていた影
春の風に吹かれてほどける

光が差し込んでくる 閉じていた窓
重たかったいくつかの思い連れ去って

長い闇を超えた後に

心の奥残っていた僅かな痛みも
そよ風に触れた今やさしく
まだ少し冷たく感じる空気の中
季節追い越す心

この冬動けなかった足も今は
そのわけもなくゆっくりと進める

道端の花そっと色を取り戻し
遠くの雲柔らかくその形変える

なやみの向こう側の

景色は思っていたよりもずっと広く
静かに輝いていた大きく
あの日言えなかった言葉が風に乗る
少し軽くなる気がした

ただ「進める」というこの事実が
こんなに嬉しいものと知った

春の風に吹かれて

この風がそれとなく教えてくれる
ようやく取り戻す無くしていたもの
まだ見ぬ明日へ揺れながら迷いながら
それでも前へ